可児市　西部
洪水・土砂災害
ハザードマップ



■わが家の避難場所・避難所

■わが家の連絡先

家族の名前	会社・学校の連絡先	携帯電話	メールアドレス	血液型
				型
				型
				型
				型
				型
				型

令和8年9月

非常持出品や備蓄品を用意しましょう

家族構成にあわせ、必要最小限の非常持出品をいつでも持ち出せるよう、リュックなどに入れて準備しておきましょう。
また、被災後の生活を支えるため、1人あたり7日分(最低でも3日分)の水、食料、生活用品などの備蓄品を準備しておきましょう。

非常持出品

避難時に持ち出すもの

生活用品
- □携帯ラジオ　□懐中電灯　□予備の乾電池
- □水筒　□紙コップ　□紙皿
- □割りばし　□缶切り　□万能ナイフ
- □ペットボトル

救急医療品
- □ばんそうこう　□包帯　□消毒液
- □傷薬　□かぜ薬　□湿布薬
- □胃腸薬　□持病の薬

非常食
- □飲料水　□缶詰　□アルファ米
- □乾パン　□レトルト食品

貴重品
- □現金（小銭も）　□預貯金通帳　□印鑑
- □家・車のキー　□各種カード　□携帯電話
- □免許証　□マイナンバーカードまたは資格確認書

その他（必要に応じて準備）
- □着替え　□タオル　□予備のメガネ
- □ラップ　□ウェットティッシュ
- □ビニール袋　□雨具　□お薬手帳
- □母子手帳　□粉ミルク　□ほ乳びん
- □紙オムツ　□生理用品　□ライター
- □軍手　□マスク　□カイロ
- □筆記用具　□連絡先記載のアドレス帳
- □笛　□携帯電話の予備バッテリー
- □ヘルメット・防災ずきん

備蓄品

復旧までの数日間分準備するもの(最低3日、できれば7日)

生活用品
- □新聞紙　□洗面用具
- □バケツ　□紙食器
- □カセットコンロ(燃料)
- □ライター　□フード付雨カッパ
- □裁縫道具　□石けん
- □生理用品　□万能ナイフ
- □布ガムテープ
- □タオル　□軍手　□ろうそく
- □レジャーシート　□ひも
- □くつ・スリッパ　□ティッシュ
- □ラップ・アルミホイル　□簡易トイレ

非常食
- □飲料水(1人1日3リットル)
- □アルファ米　□乾パン　□缶詰
- □調味料　□レトルト食品
- □チョコレートなどの菓子類

衣類
- □着替え用衣類・靴下　□帽子
- □着替え用肌着　□毛布
- □マスク

水は1人あたり1日3リットルがめやすです!



避難時は服装にも配慮しましょう!

●安全で動きやすい服装
- ヘルメットや防災ずきん
- 軍手や革手袋
- リュックサック
- 長袖・長ズボン
- 履きなれた靴

●雨風対策にレインコート・防寒具

1週間を想定した工夫と備え

1～2日目

●冷蔵庫・冷凍庫の食材を活用

冷蔵庫に食材を買い置きし、冷凍庫にもご飯や食パン、野菜、冷凍食品等の備蓄をしましょう。

食パンや野菜等は自然解凍により食べる事も可能

3～7日目

●ローリングストック法

備蓄品を特別に備えるのではなく、日頃から食べているものや使っているものを少し多めに購入し、食べた分を補充しながら日常的に備蓄（ローリングストック）することで、無理がないようにし、消費期限切れなどの無駄のない備えをしましょう。

●その他備蓄しておくと良いもの
- 缶詰（野菜や果物など）
- 乾麺（ラーメン・パスタ）
- フリーズドライ食品（スープ等）

※ローリングストック法等で1週間分の非常食を備えておくとより安心です。
※1週間分の飲料水、また生活用水も備えましょう。飲料水は1人1日3ℓ×家族分の準備を。

洪水
から命を守るために



洪水　避難の心がけ

浸水前の早い段階で安全な場所へ

浸水している中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難などの情報が活用できるか確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水がはじまってしまったら

浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。

洪水から避難するときにはこんなことに気をつけましょう

水が濁って、足元が見えにくくなります。もしフタが外れていると、マンホールや道路側溝などに転落して危険です。



高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。



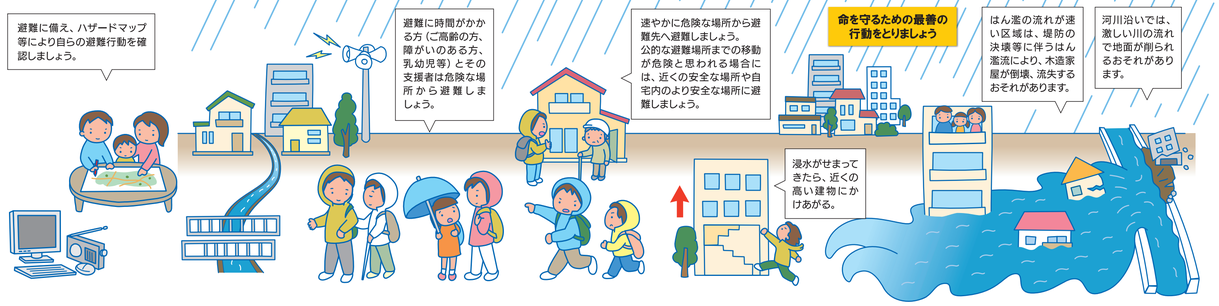
近年、局地的な大雨や集中豪雨により、各地で大きな被害が発生しています。河川では、上流の大雨による急な増水で、雨が降っていない下流でも事故の発生が心配されます。
屋外での活動には、増水した河川や水路には近づかないなどの注意が必要です。



雨が降り始める

警戒レベル	1	2	3	4	5
状況	気象状況が悪化するおそれがあります。	災害の発生するおそれがあります。	重大な災害の発生する恐れがあります。市から「**高齢者等避難**」が発令されることがあります。	災害発生の危険が高まっています。市から「**避難指示**」が発令されます。	**すでに災害が発生しています。**市は実際に災害が発生していることを把握した場合、可能な範囲で「緊急安全確保」を発令します。

「警戒レベル4」までに必ず避難！



気象情報に注意しましょう

大雨により災害が発生するおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報を気象庁が発表します。

非常事態
- さらに激しい大雨が続くと → **特別警報**
- 大雨が降り続くと → **危険警報**
- 大雨が → **警　報**
- 雨が強くなると → **注 意 報**

NHK データ放送
リモコンのdボタンを押す

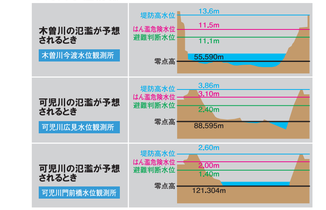
気象庁
URL https://www.jma.go.jp

岐阜県 川の防災情報
URL https://www.kasen.pref.gifu.lg.jp

水位情報に注意しましょう

- はん濫の危険が間近にせまっている → **市は、避難指示の発令を判断します。**住民の皆さんは、**避難**をしてください。
- このまま降り続くとはん濫する → **市は、高齢者等避難の発令を判断します。**避難に時間を要する人とその支援者は、**避難を開始**してください。
- いつもより水位が高い → **水防団が待機します。**

●河川水位情報



土砂災害
から命を守るために

土砂災害　避難の心がけ

雨や予兆現象に注意し、早めの避難

土砂災害は、避難情報を発令することが非常に難しい現象です。情報が無くても自主的に避難するきっかけをつかみましょう。

大雨で外に出るのが危険なときは

避難所まで行くのが危険と感じたときは、無理に避難せずに、丈夫な建物の2階以上の斜面から離れた場所で身を守りましょう。

土砂災害から避難するときにはこんなことに気をつけましょう

夜中に雨が降り続くと予想されるときは、暗くなる前に避難しましょう。



斜面や増水した川から離れた道を選びましょう。





周囲に危険を感じたときは、高くて丈夫な建物に駆け込みましょう。

雨が降り始める

警戒レベル	1	2	3	4	5
状況	気象状況が悪化するおそれがあります。	災害の発生するおそれがあります。	重大な災害の発生する恐れがあります。市から「**高齢者等避難**」が発令されることがあります。	災害発生の危険が高まっています。市から「**避難指示**」が発令されます。	**すでに災害が発生しています。**市は実際に災害が発生していることを把握した場合、可能な範囲で「緊急安全確保」を発令します。

「警戒レベル4」までに必ず避難！



気象情報に注意しましょう

土砂災害が発生するおそれがある場合、土砂災害特別警報、危険警報、警報、注意報を気象庁が発表します。

NHK データ放送
リモコンのdボタンを押す

ぎふ土砂災害警戒情報ポータル
URL https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/web_pub

雨に注意しましょう

1時間20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分注意しましょう。

1時間の雨量　20mm
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

連続雨量　100mm
弱い雨でも長時間降り続くと、土砂災害の危険性が高まる

土石流の前兆現象


山鳴りがする。


雨が降っているのに川の水が減る。


川が濁ったり、木が流れている。

がけ崩れの前兆現象


がけから小石が落ちてくる。


がけからわき水が増えたり濁る。


わき水が止まったり、斜面に亀裂ができる。

土砂災害警戒区域とは？

土砂災害警戒区域
【イエローゾーン】
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危険が生じるおそれがあると認められる区域です。

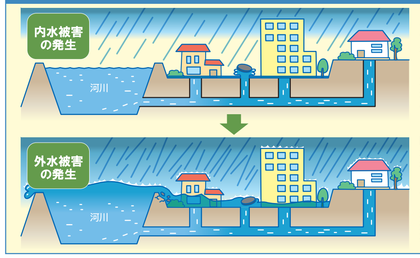
土砂災害特別警戒区域
【レッドゾーン】
土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

前兆現象を見つけたら

自主防災会などで情報を共有する方法の確認や訓練を実施しておくことが重要です。

避難のルールを地区のみんなで決めておく ⇒避難先、避難のきっかけ、情報の伝え方など → 避難のきっかけに気づいたら、みんなに伝える → 声をかけあってみんなで避難する

内水氾濫と外水氾濫の違い



雨が激しく降り続くと、マンホールや道路側溝などから水が溢れ出して、低い土地などで浸水被害（内水被害）が発生します。河川の水位には、引き続き警戒が必要です。

立ち退き避難が必要な区域の方は、速やかに避難する必要があります。そのほかの方は、高い場所などの安全な場所に避難する必要があります。

断続的に雨が激しく降り続くと、雨水管から溢れた水による浸水（内水被害）に加えて、河川から水が溢れたり、堤防が決壊するなどの大きな浸水被害（外水被害）が発生します。

避難指示等の避難情報に応じて、速やかに安全な場所へ避難する必要があります。

指定避難所

地区名	ID	施設名	開設時の注意点 浸水害	開設時の注意点 土砂災害	所在地	電話番号
今渡	①	今渡地区センター	注L2		今渡1521-4	25-2602
	②	福祉センター(福祉避難所)			今渡682-1	62-5329
	③	蘇南中学校	注L2		今渡112	62-1010
	④	今渡北小学校			今渡1680	63-1500
川合	⑤	川合地区センター	注L2		川合北2-14	63-4339
下恵土	⑥	下恵土地区センター			下恵土1673	63-4751
	⑦	今渡南小学校			下恵土3433-7	62-1366
土田	⑧	土田地区センター	注L2		土田2352-2	25-2217
	⑨	土田小学校	注L2		土田4226-1	25-2652
帷子	⑩	帷子地区センター		注2	東帷子1011	65-2007
	⑪	帷子小学校			東帷子1047	65-4802
	⑫	南帷子小学校			東帷子2231	65-4181
	⑬	西可児中学校			若葉台7-1	65-6835
	⑭	広陵中学校		注2	東帷子593	65-7991
春里	⑮	春里地区センター	注L2		矢戸407	65-2006
	⑯	B&G海洋センター			坂戸987-4	62-8603
	⑰	老人福祉センター可児川苑(福祉避難所)	注L2		坂戸765	61-0248
	⑱	春里小学校			塩642-1	65-2063
姫治	⑲	姫治地区センター			下切1530	62-0104
平牧	⑳	平牧地区センター			二野2547-4	62-0067
	㉑	老人福祉センター福寿苑(福祉避難所)			大森347-2	63-3333
	㉒	旭小学校			大森2078-3	62-0302
桜ケ丘	㉓	桜ケ丘地区センター			皐ケ丘6-1-1	64-0051
	㉔	桜ケ丘小学校			桜ケ丘5-55-2	64-0700
	㉕	東可児中学校			皐ケ丘4-71	64-2700

地区名	ID	施設名	開設時の注意点 浸水害	開設時の注意点 土砂災害	所在地	電話番号
久々利	㉖	久々利地区センター	注L1	注1	久々利1644-1	64-1120
	㉗	東明小学校	注L2		久々利1945	64-1128
広見	㉘	広見地区センター			広見7-77	62-2101
	㉙	総合会館	注L1		広見1-5	62-1111
	㉚	中部中学校			広見1086	62-1161
	㉛	広見小学校		注2	広見71-1	62-1551
広見東	㉜	広見東地区センター	注L2	注2	瀬田1736	62-4063
中恵土	㉝	中恵土地区センター	注L1		中恵土1896-1	62-8722
兼山	㉞	兼山地区センター	注L2	注1	兼山701-1	59-2116
	㉟	兼山小学校		注1	兼山1444-1	59-2211
多治見	㊱	南姫小学校			大薮町1237-1	0572-27-6078
	㊲	根木小学校			高根町4-6-5	0572-27-4646
	㊳	北陵中学校			旭ケ丘10-6	0572-27-6068
	㊴	たじみ陶生苑			小名田町小髙5-411	0572-25-6997

凡　例
- ●第一次避難所（災害の大小に関係なく開設する避難所。台風時など、気象情報によっては、自主避難場所としても開設されます。）
- ●第二次避難所（第一次避難所だけでは収容できない場合に開設する避難所。）
- ●越境避難施設（多治見市が避難所を開設した際に利用できます。）

広域避難場所

施設名	所在地
ふれあいパーク・緑の丘	羽崎1269-38
道の駅可児っテ	柿田416-1
可児市運動公園	坂戸987-4
かに木曽川左岸公園	土田2691-1

注L1：河川整備において基本となる降雨による浸水想定区域にあるため、水害が予測される際の避難には施設の安全を十分に確認する。
注L2：想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域内にあるため、水害が予測される際の避難には施設の安全を十分に確認する。
注1：土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害が予測される際の避難には施設の安全を十分に確認する。
注2：施設周辺が土砂災害警戒区域であるため、土砂災害が予測される際の避難には避難経路の安全を十分に確認する。

情報の入手方法

災害時緊急メール「すぐメールかに」（可児市メール配信サービス）

可児市メール配信サービス「すぐメールかに」に登録していただくと、皆さんの携帯電話やスマートフォン・パソコンに防災情報や気象情報などをメールでお知らせします。登録は無料です。（パケット通信料は登録者負担となります）

■携帯電話やスマートフォンから登録
Email t-gifu-kani@sg-p.jp
上記のアドレスに空（から）メールを送る。QRコードを読み取れば、アドレスの入力は必要ありません。

最新版は可児市HPへ

テレビで調べる

■テレビのdボタン（NHK データ放送）
データ放送に対応しているテレビでは、リモコンのdボタンを押すと、雨の情報や河川の情報を確認することができます。

■CTKケーブルテレビ可児
11 チャンネルでは、可児市と御嵩町に設置した情報カメラのライブ映像をみることができ、台風や大雨の時には、可児川の水位や地域の雨量データも放送します。

ラジオで調べる

FM	FMらら	76.8MHz	AM	岐阜放送(GBS)	1431kHz
	FM Gifu	80.0MHz		東海ラジオ放送	1332kHz
	NHK FM 岐阜	83.6MHz		中部日本放送(CBC)	1053kHz

FMららを活用した緊急情報伝達システム

防災行政無線からの緊急情報の音声を、FM ららの放送を利用して放送します。このシステムにより、FM ラジオ・スマートフォン（ FM プラプラの登録が必要）でリアルタイムに災害緊急情報等を聴くことができます。

■「FMプラプラ」の登録
右記のQRコードからインストールすることができます。

iPhoneの場合　Androidの場合

インターネットで調べる

- 可児市役所ホームページ URL https://www.city.kani.lg.jp/
- 可児市 Facebook URL https://www.facebook.com/kanishiyakusho/
- 可児市 X（旧Twitter） URL https://x.com/KaniCity
- 可児市 LINEアカウント 友だち追加 https://lin.ee/ImnBghQ

災害時に電話がつながりにくくなったときに、家族や知人との連絡に利用できます。

災害用伝言ダイヤル171（NTT） URL https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

災害用伝言板web171（NTT） URL https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/

※携帯電話やスマートフォンでも安否確認ができる「災害用伝言板」が使用できます。詳しくは携帯電話各社の案内をご覧ください。
「QR コード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です。

避難や対応を決断できるのはあなた自身

命を守る　地域の災害を知る
- ハザードマップを使って水害や土砂災害の危険な箇所を確認。



命を守る　命を守るために、今できることを
- 避難先の確認。
- 情報入手方法の確認。



災害から身を守るためには、避難するなどあなた自身の行動が必要です。自分は大丈夫と思いこんだり、だれかに頼りきりになって、自分の命は自分で守るという姿勢を失ってはいけません。

地域のみんなで逃げる、みんなで助かる

助け合う　地域のみんなを知る
- 普段からの声かけ。
- 避難の支援が必要な方の確認。
- 避難方法の相談。



助け合う　声をかけて、みんなで逃げる
- 避難のときの声かけ。



災害の危険が迫ったとしても、ひとりではなかなか避難を決断できません。また、地域には自力での避難が難しい方もいます。あなただけでなく地域のみんなでの避難や助け合いを確認しておきましょう。